



岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成 31 年 4 月 18 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ 団体名 タツノクチガックボウサイ サクセイジツコウイインカイ
竜之口学区防災マップ作成実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ 代表者役職・氏名 ジツコウイインチョウ モリ タニ トシ アキ
実行委員長 守 谷 俊 昭

<p>実施分野</p>	<p>(該当の分野を○で囲んでください) <input type="radio"/> ア 地域課題解決 <input type="radio"/> イ 地域課題掘り起し <input type="radio"/> ウ 地域計画づくり <input checked="" type="radio"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり <input type="radio"/> オ その他</p>
<p>事業名</p>	<p>竜之口学区防災マップ作成</p>
<p>事業実施区域 (小学校区)</p>	<p>岡山市立竜之口小学校</p>
<p>① 業実施内容</p>	<p>1.情報収集と掲載情報の決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学区内の危険場所・消火器設置場所・消火栓の位置、通学途上の危険箇所、一次避難場所(緊急的に一時避難する場所)、二次避難所(学区・行政が指定した施設で宿泊可)などのデータを各町内会より収集し、マップに落とし込む。 ・各町内会の避難ルートの確認。 ・要支援者の把握と援助手段。 <p>2.校正及びマップの印刷。</p> <p>3.学区全体へ「防災マップ」完成の案内。</p> <p>4.各町内会、公共施設、必要施設などに配布。</p> <p>5.「竜之口防災マップ」を使った図上防災訓練(DIG)、実際の避難訓練などを実施。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 毎年12月初めに行っていた防災訓練ですが防災マップが出来るという事で2月24日(日)に学区防災訓練を実施しました。 2) 学区で初めての合同の避難訓練を取り入れました。南海トラフ地震を想定、各町内会は防災マップを活用、避難場所へ集合、点呼を行い人数と安全の確認後、本部へ報告後、安全な避難経路を確認しながら小学校の避難所へ避難。 3) 避難所では人数と安全の報告。 4) 各避難場所の年齢、救護者等が避難所までの到着時間を確認のため計時を実施。

<p>② 解決を目指した課題</p>	<p>(課題)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 災害時の対策マニュアルや避難マニュアルがない。 2. 学区は避難経路や一部の町内会を除いて危険個所が共有できていない。 3. 学区は防災訓練は毎年実施しているが避難訓練はできていない、又、各町内会の平常時の避難訓練の徹底が必要と学区全体の避難訓練の実施が必要。 4. 要救護者の対策が把握できていない。
<p>③ 目的・目標の達成状況</p>	<p>ア 地域課題解決⇒解決を目指した課題の達成状況 イ 地域課題掘り起し⇒掘り起こりにより明らかになった課題等 ウ 地域計画づくり⇒作成された計画等 エ 地域課題解決型の地域組織づくり⇒目指した地域組織づくりの達成状況 オ その他⇒定めた目標の達成状況</p> <p>など、掲げた目的とその達成状況を記載してください。また事業を実施したことで生まれた新たな効果などありましたらご記入ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 初めての学区全体の防災マップ作成について各町内会の委員が西日本豪雨の事も有り防災の関心が高い事を改めて確認出来ました。 2. 初めての学区全体の防災マップ作成について改めて危険箇所、施設等の再確認が出来ました。 3. 予定の期日にマップが完成、配付ができました。 4. 初めて学区全体で各町内から委員が選出され防災に関する諸協議を通し課題、問題点等の確認ができた。 5. 普段から防災マップの活用を行い、学区民の防災意識の高揚図り、のいざの時に一人の犠牲者もない学区として安心・安全な町づくりに取り組みたいと思います。

④ 企画等の工夫と情報公開	<p>※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第1回実行委員会でゼンリンの地図へ各町内会の危険箇所（用水路・ブロック塀）消火器設置場所、消火栓、井戸、避難場所を記述等する案を進めました。 2. 第2回実行委員会の会議で自分が住んでいる場所の危険性等の意見があり、協議、岡山市が発行しているハザードマップを利用できないか。 3. ハザードマップを利用するにはパソコンの技術と時間が必要な事が判明。委員の中で出来る人が有りひと安心です。 4. 当初から高齢者等また、誰にも見やすいマップの作成を計画でした、A2サイズで計画、学区は南北に広く地図全体と施設、危険箇所、文字を記入となると、文字は小さく見難い事が判り、委員の様々な意見の結果、避難所の小学校を中心に南北に分け、両面で計画変更しました。全体に大ききなり見やすくなりました。 5. 学区は狭い道が多く避難経路が分り難いため道路幅を広げました。 6. 各町内会から実行委員会へ2名以上の参加があり、実行委員会の情報を持ち帰り各町内会の意見、情報を取り入れた。
⑤ 次年度計画	<p>※次年度に引き継ぐ課題、今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要をご記入ください。また次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由（課題が解決したからなど）をご記入ください。</p> <p>まだまだ十分ではありません、今後の避難訓練等を通して問題点等を把握、確認しながら今後市から発行されるハザードマップへ2～3年後に反映、区づくり事業へ参加します。</p> <p>作成した「防災マップ」を有効に活用して行きます。</p>

◎事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善	<p>※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりを進めることができたか、持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったか、地域の課題解決力は高まっているか等、本事業についての自己評価をご記入ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 防災訓練は防災マップを活用し実施、約 300 名の参加がありました、又、自主的な参加者もあり防災意識が高まったと思います。 2. 参加者からは大変判りやすい防災マップが出来たと喜んで頂きました。実行委員会の委員の皆さんが真剣に取り組んだ成果と思います。 3. 避難訓練の反省会を実施 <ol style="list-style-type: none"> 1) 多くの出席者からマップの活用に歓喜の言葉が有りました。 2) まだまだ十分ではありません、今後の避難訓練等を通して問題点等を把握、確認しながら今後市から発行されるハザードマップへ反映します。 	
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="236 880 970 1429"> <p>○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容 予算の詳細がわかりづらい。 今回の報告書の中へ内訳を記入しました。</p> <p>右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記（ ）内へ記入して下さい。</p> <p>(理由：) 初めての防災マップのため反省する事もありました。</p> </td> <td data-bbox="978 880 1430 1429"> <p>助言等の内容について、改善ができましたか。</p> <p>Ⅰ できた ② おおむねできた Ⅲ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった</p> </td> </tr> </table>	<p>○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容 予算の詳細がわかりづらい。 今回の報告書の中へ内訳を記入しました。</p> <p>右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記（ ）内へ記入して下さい。</p> <p>(理由：) 初めての防災マップのため反省する事もありました。</p>
<p>○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容 予算の詳細がわかりづらい。 今回の報告書の中へ内訳を記入しました。</p> <p>右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記（ ）内へ記入して下さい。</p> <p>(理由：) 初めての防災マップのため反省する事もありました。</p>	<p>助言等の内容について、改善ができましたか。</p> <p>Ⅰ できた ② おおむねできた Ⅲ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった</p>	

⑧事業実施経過 1/2

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

年 月 日	内 容
4月1日	第1回連合町内会 幹事会 防災マップの取り組み内容を検討
6月2日	第2回連合町内会 幹事会 防災マップ作成内容確認、区づくり事業へ申請を決議
6月28日	区づくり事業へ申請書 提出
8月5日	区づくり事業 審査会へ出席
9月16日	第1回防災マップ作成実行委員会開催 1)岡山市区づくり推進事業 審査会の報告 2)防災マップ作成の進め方 3)竜之口学区オリジナルのマップを作成
10月27日	第2回防災マップ作成実行委員会開催 1)各町内会の危険箇所、施設等を協議 2)岡山市のハザードマップを利用を確認
11月10日	第3回防災マップ作成実行委員会開催 1)各町内会のハザードマップへ転記の原稿確認 2) 防災マップの活用について
11月23日	第4回防災マップ作成実行委員会開催 1) 各町内会のハザードマップへ転記の有無を確認 2) 防災マップ マニュアルを検討

⑧事業実施経過 2/2

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

年 月 日	内 容
1月6日	第5回防災マップ作成実行委員会開催 1) 防災マップの活用について 2) 学区防災訓練でマップを活用した避難訓練を実施決定 活用方法を協議、 3) 防災マップ 3,500枚 印刷決定
1月26日	防災マップ 3,500枚 完成
2月2日	第6回連合町内会 幹事会 1) 各町内会へ防災マップを配布 2) 学区防災訓練の概要及び防災マップの活用を説明
2月24日	学区防災訓練を実施 場所: 竜之口小学校 参加者: 約 300人 内容: 避難訓練、起振車体験、スモークマシン体験、 西日本豪雨災害 パネル展
3月9日	防災マップ作成・学区防災訓練の反省会を開催 1. 防災マップ、学区防災訓練の課題・問題点 1) 防災訓練の目的の確認 2) 防災訓練の企画について 3) 参加者について 4) 防災マップの活用について 5) 竜之口学区の自主防災会について、自主防災体制 6) 防災訓練の有り方 7) 総括

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	208,000	184,000	
負担金	52,000	46,238	連合町内会負担金
参加費			
寄付、他収入			
計	260,000	230,238	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容 (必 ず 記 載 し て く だ さ い)
① 消耗品費		8,221	プリンタインク、用紙等
② 食糧費	10,000	6,904	会議時飲料代
③ 印刷製本費	250,000	215,113	会議用資料、マップ印刷
④ 燃料費			
⑤ 光熱水費			
⑥ 通信運搬費			
⑦ 広告料			
⑧ 手数料			
⑨ 使用料・賃借料			
⑩ 原材料費			
⑪ 委託料			
⑫ 工事請負費			
⑬ 報償費			
⑭ 保険料			
⑮ 旅費			
計	260,000	230,238	